

チャペル週報

わたしは失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し
傷ついたものを包み、弱ったものを強くする
しかし、肥えたものと強いものを滅ぼす
わたしは公平をもって彼らを養う
(エゼキエル書 34:16)



2006 4 24 ~ 5.2 No.3
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

4月24日(月)	神 経	HABITAT 舟 木 謙 (宗教主事)
4月25日(火)	院 神 文 社 法 経 商 総	Andreas Rusterholz (宣教師) Theo Sundermeier (神学部客員教授) 田 淵 結 (宗教主事) 音楽チャペル：混声合唱団エゴラド 栗 林 輝 夫 (宗教主事) 聖歌隊による讃美歌練習 辻 学 (宗教主事) 鎌 田 康 男 (総合政策学部教授)
4月26日(水)		上ヶ原キャンパス学部合同チャペル「イースター」 於：中央講堂 理 新入生のためのチャペルコンサート 理工学部アンサンブル 総 細 見 和 志 (総合政策学部助教授)
4月27日(木)	神 文 法 経 商 総	山 田 香 里 (神学部専任講師) 永 田 雄次郎 (文学部教授) Christian M. Hermansen (宣教師) ハビタット活動報告 上ヶ原ハビタット English Chapel Richard Stinson (宣教師) 鎌田康男 (総合政策学部教授) とアンサンブル
4月28日(金)	神 文 社 経 商 理	David Wider (神学部助教授) Andreas Rusterholz (宣教師) チャペル・メディテーション ブラザー・ギラン(フランス・テゼ共同体) 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド 上ヶ原ハビタットによるチャペル あなたなら、どうする? 松木真一 (宗教主事)
5月1日(月)	神 経	中 川 献一郎 (M2) 舟 木 謙 (宗教主事)
5月2日(火)	院 神 文 社 法 経 商 総	永 田 雄次郎 (文学部教授) 鎌 野 真 (M2) ハビタット (Habitat for Humanity) によるチャペル 上ヶ原ハビタット 栗 林 輝 夫 (宗教主事) 春の音楽チャペル 関西学院グリークラブ 宗教総部によるチャペル Habitatワークキャンプ体験 総合政策学部学生

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
4月28日(金) 教職教育研究センターのために 小 谷 正 登
総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~ 於 宗 教 主 事 室

「関西学院で学ぶ意味」

林 智 義

新年度の1ヶ月が過ぎ、新入学生の皆さんもそろそろ関西学院での生活に慣れてきた頃でしょうか。専門知識を修得したい、国際社会で通用する実力を身につけたい、教養を得たい、人間を磨きたい等、様々な期待を持って学生生活を始められたことと思います。我々職員は、皆さんのキャンパス生活が実り多いものになるよう、全力で支援したいと思っています。

皆さんが入学を選んだ関西学院は、非常に鮮明に建学の精神を堅持してきたキリスト教主義校であり、「能力をいかに使うべきか」「自分とはどのような存在か」「どのように生きるのが幸福か」を学ばせる学校なのだということを意識していただきたいと思います。

第4代院長のベーツ先生が提唱したMastery for Serviceというモットーを学生諸君自身のモットーとして真剣にとらえ、理想を高く掲げ、強さ・完全さを追求する努力をして欲しいと願っています。修得した知識・能力は、お金と似ているところがあります。持っていないと話になりませんが、持っているだけではあまり意味がありません。その使われ方によって、良くも悪くも働きます。他者を踏みつけにし、自己のマテリアリズム的な成功だけを求める能力行使が幸福に結びつかないことは、多くの事件が示しています。ぜひ他者に仕えるために、多くのことをマスターし、知識・能力・欲求の良き支配者（マスター）になって欲しいと思います。

また、Mastery for Serviceの取り組みの中では、「自分は隣人を愛し、仕え続けることができる者なのか」と多くの場面で自問することもあるでしょう。自己中心の悪しき思いに捕らわれがちな弱い自分、なすべき事をなさず、なさざるべき事をなしてしまう自分への気づきも大切です。その苦悩の先には、赦され赦す福音の世界と、弱さの内にも再び立ち向かおうという力の源泉があることを聖書は示しています。

真剣で一途な努力をする学生生活が、よき人生のスタートになるはずです。関西学院の学生諸君が、愛に満ちた悔いのない生涯をおくられるよう、心から祈っています。

(総務部人事課主任)

関西学院イースター礼拝

イースター礼拝の中にキリスト教と関西学院のルーツを探してみましょう。
参加者にはイースターエッグをプレゼントします。

午後6時30分よりラウンジにてティーパーティーを行います。

と き：4月26日(水)午後5時～6時20分

と ころ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催：関西学院宗教活動委員会

協 力：宗教総部、パロックアンサンブル、聖歌隊、ゴスペルクワイア、
チャペルオルガニスト、応援団総部吹奏楽部、聖書研究会ポブラ、
留学生有志

第168回ランバス演奏会

マーク・アンダーソン パイプオルガンコンサート

と き：5月16日(火)午後5時開演(4時半開場)

と ころ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

Mark Andersonプロフィール

教会音楽のために創設された米国プリンストンのウェストミンスター・クワイア・カレッジを優秀な成績で卒業した「音楽聖職者」。イーストマン音楽学校で修士の学位を得、さらにインディアナ大学で指揮法とハーブシコードの博士課程を修了した。現在フィラデルフィア市郊外チェスナットヒル長老教会のオルガニストならびに聖歌隊・ハンドベルクワイア指揮者。更に最近は同教会を拠点に新たにスタートしたペンシルバニア・ガール・クワイアの指揮者も務める。

CD、DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までどうぞお越しください。

使用済み切手収集にご協力ください

本学では、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。記念切手、外国切手だけでなく、通常切手も対象としています。吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

聖書の植物(1) オリーブ

この度新築になった吉岡記念館の周りには、18種類ほどの聖書に出てくる植物が植えられています。一度是非ご覧下さい。そこで、どういう植物かを一つずつ簡単に説明していきます。

初回はオリーブです。これは聖書に151回ほど出、聖書における最もポピュラーな植物のひとつです。モクセイ科の植物で、樹高6-10mの常緑樹です。3-4年で実がなり、樹齢も300-400年に及び、中には1000年以上のものもあると言われています。春に白い花を房状に咲かせ、果実は緑から黒くなります。その実が食用となり、オリーブ油となります。オリーブ油は食用、薬用、また儀式用に用いられ、神々の木と崇められました。

聖書では、大洪水の後放たれた鳩がノアの所にオリーブの葉をくわえてきたとあり(創8:11)、オリーブをくわえた鳩は平和のシンボルとされました。国連旗もオリーブの枝葉が地球を取り囲むデザインになっています。また、イエスが最後の夜を過ごされたオリーブ山は、文字通りオリーブ畑でした。そのゲッセマネの園で祈られました(ルカ22:39-46)、ゲッセマネというのは「油しぼり」という意味で、ここでオリーブ油が作られていたのです。オリーブは、イスラエルを祝福する7つの産物のひとつとされ、神の祝福と繁栄の象徴でもありました(詩52:10)。